

2019年度「持続可能な都市圏計画論（都市空間政策特論第9）」シラバス

火曜6・7限連続（18時40分ー21時35分）

□講義の目的

グローバル化、人口減少、環境共生など都市・地域が直面する現代的課題に対応するための新たな広域計画が求められている。本講義では、まず持続可能な都市圏計画に向けた論点を把握した上で、国内外の先進的な広域計画・都市計画制度や広域連携の事例について学ぶ。また広域にかかる最新のトピックについて、実務担当者・専門家から学ぶ。

□講義日程・項目

7月9日 瀬田史彦（東京大学） 総論・日本  
志摩憲寿（東洋大学） アジア諸国

7月16日 セミナー（「水道広域化と官民連携の展望」）  
（ご登壇者として、官民の水道事業担当者数名を予定している。）

7月23日 姥浦道生（東北大学） ドイツ  
片山健介（長崎大学） イギリス

7月30日 岡井有佳（立命館大学） フランス  
西浦定継（明星大学） アメリカ

□理解すべき事項

日本および諸外国の都市圏における広域的な論点、広域計画・広域連携の制度・手法・取り組みの事例について意義・課題を理解する。

同時に、近年話題となっている広域連携の取組について理解を深める。

□成績評価

出席および期末レポートで評価する。

□その他

参考書：大西隆編著『広域計画と地域の持続可能性』学芸出版社，2010年3月

以上